

# UCS ディレクタ ライセンスに関する FAQ

## 内容

### 概要

[UCS Directorのライセンスファイルを取得するにはどうすればよいですか。](#)

[誰に頼むんだ？](#)

[UCS Directorに存在するライセンスと目的を教えてください。](#)

[評価ライセンスの上にCUIC-PHY-SVRライセンスまたはCUIC-SP-PHY-SVRライセンスをインストールできますか。](#)

[2つのEVALライセンスまたはNFRライセンスをインストールして、容量を2倍にすることはできますか。](#)

[複数のシステムに同じライセンスをインストールできますか。](#)

[ベアメタルサーバライセンス\(CUIC-PHY-SVR\)をフルサーバライセンス\(CUIC-PHY-SVR\)にアップグレードできますか。](#)

[CUIC-PHY-SVRとCUIC-PHY-SVR-VRライセンスを混在させることはできますか。](#)

[UCS DirectorがUCSドメイン内のすべてのブレードを検出する場合、各ブレードにサーバライセンスが必要ですか。](#)

[次のエラーメッセージを回避するにはどうすればよいのですか。「ライセンスの更新中にエラーが発生しました。永久ライセンスは現在システムにインストールされています。永久ライセンスがインストールされている場合、サブスクリプションベースのライセンスを追加することはできません。」](#)

[シナリオ 1：永久ライセンスがインストールされていないのに、新しいサブスクリプションライセンスを追加しようとすると、失敗します。](#)

[シナリオ 2：永久ライセンスがすでにインストールされており、サブスクリプションライセンスをインストールしようとしたとき。](#)

## 概要

このドキュメントでは、Unified Computing System(UCS)Directorのライセンスに関する最も一般的な質問について説明します。バージョン情報については、次のリストを参照してください。

- ここに示す情報のほとんどは、UCSDバージョン4.1.0.1以降に適用されます。
- 旧バージョンにインストールされたライセンスは、バージョン4.1.0.1以降にアップグレードすると自動的に変換されます。
- 旧バージョン用に発行されたライセンスは、バージョン4.1.0.1以降にインストールでき、自動的に変換されます。
- Enterprise Cloud Suiteサブスクリプションライセンスには、UCSDバージョン6.0.0.1以降が必要です。

## UCS Directorのライセンスファイルを取得するにはどうすればよいですか。

UCS Directorには、90日間評価版ライセンスが組み込まれています。永久ライセンスまたはサブスクリプションライセンスは、通常の販売チャネルから、個別に、またはUCSハードウェアのバンドルの一部として、またはEnterprise Cloud Suite(ECS)ソフトウェアバンドルの一部として注

文できます。このPAKは、UCS Directorで読み取り可能なライセンスファイルを生成するために [Cisco License Registration Portal](#) で使用できます。

## 誰に頼むんだ？

PAKを取得するには、パートナー/リセラーまたはシスコアカウントチームにお問い合わせます。PAKを取得する場合は、[licensing@cisco.com](mailto:licensing@cisco.com)に連絡するか、Cisco Global Licensing Operationsチームにケースを開きます。ライセンスファイル(EVALライセンスまたはNFRライセンスを除く)。キーワードUCS Directorおよび [Configuration Assistance](#) を使用したSupport Case ManagerのTACケース。

## UCS Directorに存在するライセンスと目的を教えてください。

UCS Directorには、期間限定の評価ライセンスなど、さまざまなライセンスオプションがあります ( 「UCS Directorのライセンスファイルの取得方法」 を参照 )。お客様の要件に最も適したオプションについては、シスコリセラー、パートナー、またはシスコアカウントチームにお問い合わせください。

UCS Directorシステムにインストールされる最初のライセンスは、CUIC-BASE-K9やELA-CUIC-BASE-K9などのBASEライセンスである必要があります。アドオンライセンスは、ベースライセンスのインストール後にインストールする必要があります。

## 評価ライセンスの上にCUIC-PHY-SVRライセンスまたはCUIC-SP-PHY-SVRライセンスをインストールできますか。

いいえ。評価ライセンスにはすでに固定数のサーバライセンスが含まれており、この数は変更できません ( 「UCS Directorのライセンスファイルを取得する方法」 を参照 )。CUIC-PHY-SVRまたはCUIC-SP-PHY-SVRライセンスをインストールするには、まず評価ライセンスをCUIC-BASE-K9ライセンスに置き換える必要があります。

## 2つのEVALライセンスまたはNFRライセンスをインストールして、容量を2倍にすることはできますか。

いいえ、評価ライセンスとNot-for-Resaleライセンスはスタックできません。

## 複数のシステムに同じライセンスをインストールできますか。

これが許可される唯一のシナリオは、本番UCS Directorシステムのライセンスをステージング・システムにインストールする場合で、後で構成をテストするために使用します。複数の本番システムを導入する場合、HA ( 高可用性 ) シナリオでも、各本番UCS Directorシステムには独自ののライセンスが必要で

## ベアメタルサーバライセンス(CUIC-PHY-SVRBM)をフルサーバライセンス(CUIC-PHY-SVR)にアップグレードできますか。

いいえ、ベアメタルサーバはフルサーバライセンスにアップグレードできません。

## **CUIC-PHY-SVRとCUIC-PHY-SVR-VRライセンスを混在させることはできますか。**

いいえ。CUIC-PHY-SVR-VRライセンスは、Cisco ONE Foundation for Computeに付属する制限付き機能ライセンスです。CUIC-PHY-SVRライセンスの全機能がすでにインストールされているUCS Directorシステムでは使用できません。その逆も可能です。ただし、CUIC-PHY-SVR-VRライセンスからCUIC-PHY-SVRライセンスにアップグレードすることは可能です。詳細については、パートナー/リセラーまたはシスコアカウントチームにお問い合わせください。

## **UCS DirectorがUCSドメイン内のすべてのブレードを検出する場合、各ブレードにサーバライセンスが必要ですか。**

いいえ。UCS Directorバージョン4.1では、UCS Directorで管理されているブレードと管理されていないブレードを選択できます。サーバライセンスが必要なのは、管理対象ブレードだけです。

**次のエラーメッセージを回避するにはどうすればよいのですか。  
「ライセンスの更新中にエラーが発生しました。永久ライセンスは現在システムにインストールされています。永久ライセンスがインストールされている場合、サブスクリプションベースのライセンスを追加することはできません。」**

**シナリオ 1：永久ライセンスがインストールされていないのに、新しいサブスクリプションライセンスを追加しようとすると、失敗します。**

パーマネントベースライセンス(CUIC-BASE-K9)も永久ライセンスと見なされ、UCS Director 6.0.0.0以前でエラーが発生します。UCS Directorバージョン6.0.0.1以降では、サブスクリプションライセンスをインストールできます。アップグレードしてから、ライセンスを再度適用します。

注：サブスクリプションライセンスと永久(永久)ライセンスをこのバージョンと混在させることはできません。

**シナリオ 2：永久ライセンスがすでにインストールされており、サブスクリプションライセンスをインストールしようとしたとき。**

UCS Director 6.0.0.1以降では、永久ベースライセンス(CUIC-BASE-K9)の上にサブスクリプションライセンスをインストールすることができます。無期限にできるのは基本ライセンスのみであることに注意してください。永久ライセンスとサブスクリプションアドオンライセンス(サーバライセンスやストレージライセンスなど)を混在させることはサポートされていません。永久アドオンライセンスをすでに所有していて、サブスクリプションライセンスを購入している場合は、リセラーまたはシスコアカウントチームに相談してオプションを検討してください。